

ちょっと気になる子を豊かに育てる保育



小枝達也先生



国立研究開発法人
国立成育医療研究センター
こころの診療部 部長

日本小児科専門医、小児科指導医
日本小児神経専門医

鳥取大学医学部附属病院、松江赤十字病院小児科、北九州市立総合療育センター小児科を経て、オランダ政府奨学生としてフライ大学小児科へ留学。鳥取大学地域学部教授、鳥取大学附属小学校校長（併任）、鳥取大学地域学部附属子どもの発達・学習研究センターセンター長（併任）を経て、現職。

日時：平成29年1月12日（木）18:00～19:30

会場：筑波大学東京キャンパス 116教室

〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1
丸ノ内線茗荷谷（みょうがだに）駅下車「出口1」徒歩5分程度
http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html



小枝先生は『発達障害では脳機能の病態解明が治療法開発に結びつくことがある。そのひとつとしてdyslexia（発達性読み書き障害）の早期発見と治療法の開発を行っており、T式ひらがな音読支援と命名して普及に努めている。発達障害の子どもを長く診ることで、その子たちの成長に寄り添うことができるのも楽しみのひとつ。あんなに大変だった子たちが立派な青年になって自立し、外来を卒業していく姿を見るのは本当にうれしいもの。』と語る。今回は、「ちょっと気になる子を豊かに育てる保育」というテーマでお話くださいます。

次回予告

保育の質向上への動向

講師：秋田喜代美先生（東京大学大学院教授）

日時：平成29年2月2日（木）

会場：筑波大学東京キャンパス 116教室
丸ノ内線茗荷谷（みょうがだに）駅下車「出口1」徒歩5分

